

臨床研究の実施について

国家公務員共済組合連合会名城病院では倫理委員会で審査され、病院長の承認を得て以下の臨床研究を実施しております。本研究では、既に存在する診療情報を利用させていただきます。国が定めた指針に基づき対象患者さんから直接同意を取得する代わりに、研究の目的を含めて情報を公開し、更に拒否の機会を保障することが必要とされています。

この研究の対象に該当し、診療情報等が利用されることにご了承できない場合など、お問い合わせがありましたら、下記の問い合わせ先へご照会ください。

なお、研究不参加を申し出られた場合でも、今後の診療において何ら不利益を受けることはありません。

1) 課題名

思春期特発性側弯症 Lenke タイプ 5 C に対する選択的腰椎固定術の手術成績
-術前胸腰椎/胸椎カーブ比からみた術後固定下端椎間のウェッジングとの関係-

2) 研究責任者

整形外科部長 小原 徹哉

3) 研究の対象

当院にて手術治療を行った思春期特発性側弯症 Lenke タイプ 5 C 症例（2007 年 2 月から 2018 年 12 月までに当院で選択的腰椎固定手術を施行した 56 症例）

4) 研究の目的・方法

思春期特発性側弯症（以下 AIS）Lenke タイプ 5C に対する矯正固定術では、胸椎までの長範囲固定を避け、選択的に腰椎部での矯正固定手術が選択されることが多いです。しかし、中には術後に冠状面不良を引き起こす症例も散見されるため、選択的に固定した際の術後成績を評価することで今後の手術手技選択の一助となります。

本研究では、胸腰椎カーブ/胸椎カーブ比により、AIS Lenke タイプ 5C における選択的腰椎固定術の手術成績を評価します。本指標を用いて、選択的腰椎固定術の適応を明確にすることを目的とします。

5) 研究期間

研究承認日から 2025 年 3 月 31 日

6) 研究に利用させていただく情報

匿名化した ID、年齢、性別、疾患情報、手術日、治療成績、使用した器材・インプラント、合併症、画像情報、各種質問票などを後方視的に使用しています。情報を提供して下

さった患者個人が特定できないように使用します。

7) 参加機関（参加予定も含みます）

名城病院

8) 個人情報の取り扱い

匿名化を行い、患者さんを特定できる個人情報は削除します。学会発表や学術雑誌で研究成果を報告する場合がありますが、その際も個人を特定される情報は公開されることはありません。

9) 問い合わせ先

国家公務員共済組合連合会名城病院 整形外科 小原 徹哉

〒460-0001 名古屋市中区三の丸1丁目3番1号

TEL 052-201-5311 FAX 052-201-5318